



令和6年2月13日

各 位

株式会社 赤阪鐵工所

BDF 製造と販売における新規事業化について

この度、赤阪鐵工所は廃食油からバイオディーゼル燃料（以下 BDF）を精製し製造する事業を 2024 年 11 月より開始する事としました。プラントの建築が 9 月竣工となり、11 月を目標に当社ブランドとして BDF を製造・販売する新規事業を立ち上げます。

世界的な GHG 削減政策により、海運業界においても、先ごろ開催された IMO MEPC80 において 2030 年には 2008 年比 GHG 排出 20~30%削減、2050 年に GHG ネット排出ゼロを目標とすることが採択されました。

これに対応し、水素、アンモニアなど代替燃料の開発が進められている中、既にカーボンニュートラル燃料として認知されており、近年急激に注目度が増している廃食油から製造する BDF に着目いたしました。

一般的に廃食油は古くより家畜飼料用の原料としての需要があるため、BDF 向けにその一定量を確保することは困難であったところ、廃食油の回収事業を運営する有力企業との、当社への安定的な廃食油の供給について契約を締結するに至り、本事業を立ち上げることとなりました。

FAME（脂肪酸メチルエステル）と呼ばれる BDF にはエステル反応をしたもの（粗 BDF）と、エステル反応した後に減圧蒸留したもの（高純度 BDF）があります。高純度 BDF は、粗 BDF に比べてエンジントラブルを誘発せず、信頼性が高いことから、当社は高純度 BDF を製造します。更に実機テストを実施し、信頼性を補強することで、ディーゼルエンジンメーカーが提供する信頼性の高い BDF として価値を高めます。

当社は段階的に製造量の拡大を図り、海運業界は元より、自治体や建設業界でのゼロエミッション化に向けた GHG の削減に貢献し、SDGs の目的に適った取組みとして企業価値の向上を図って参ります。



BDF 精製プラントのイメージ